

院内研修会が開催されました

5月18日大会議室にて感染対策委員会が主催する研修会が実施されました。今回のテーマはCVポート・食中毒予防についてです。メディコンの伊地知さんを講師に招き、CVポート（皮下埋め込み型ポート）の構造や管理の手順を学び、管理方法や手技について再度理解を深める機会となりました。

食中毒予防については当院の感染対策認定看護師を講師とし、食中毒の原因や分類、どのように食中毒を防ぐかを学びました。普段よく耳にする細菌の名前も改めて特徴や症状を聞くと食中毒の恐ろしさを再確認させられました。



皮下埋込型ポートとは？

血管内へくりかえし薬剤の投与を行う場合に使用します。直径2～3cmほどの円盤状のタンクで、中心はセプタムと呼ばれる圧縮されたシリコンゴムでできています。そして、カテーテルと呼ばれる血管内に入っている細いチューブとつながっています。専用の注射針をポート上部のシリコンゴム（セプタム）に刺し、薬剤や薬液を注入します。



火災訓練を行いました

6月9日に九州消防、西諸広域行政事務組合消防本部のご協力のもと、当院大会議室を火元とした火災訓練を行いました。今回は病院職員、もみのき保育園職員、西諸医師会職員、小林准看護学校の生徒が参加しました。

初期消火の重要性の説明を受け、消火器や消火栓を使った消火訓練を行いました。



衛星電話を使用した情報伝達訓練を行いました

6月12日事務部にて衛星電話を使用したDMATの情報伝達訓練を行いました。当院では「NTT ドコモワイドスター」と「KDDI インマルサット」を設置しています。

訓練では関係機関から伝達された情報を正確に次の機関へ連絡するという内容でした。

今後もこうした訓練を重ねて、災害発生時に適切な対応が取れるよう努めていきます。



衛星電話とは、人口衛星と回線を繋ぐことで通話が可能になります。また、パソコンを繋ぐことによりインターネットにも接続することができます。これにより災害時であっても情報収集が可能となります。